

令和7年度 第2回中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会 議事要旨

日 付：令和7年9月18日（水）13：30～16：30

場 所：AP名古屋 7階Lルーム

出席者：松尾委員長、小川委員、國枝委員、高木委員、豊田委員
各部会構成員

- 次 第：
1. 開会
 2. 挨拶
 3. 議事
 - 1) ダム事業費等監理委員会
 - 2) ダム事業費等監理部会
 - (1) 新丸山ダム建設事業部会
 - (2) 設楽ダム建設事業部会
 - (3) 天竜川ダム再編事業部会
 4. 議事要旨の確認

1) ダム事業費等監理委員会

いただいた意見：

- 全国的な物価上昇の説明が、それぞれの事業での単価上昇に対して過大となっていないか確認されたい。
- 大幅な計画の見直しができる場合には、過去に策定された計画の内容が変更されたことに伴う影響など、その内訳についてわかりやすく説明するよう工夫されたい。

2) ダム事業費等監理部会

いただいた意見：

【全事業共通】

- 事業の進捗状況について、予算額での進捗率についても記載を検討されたい。
- 事業費だけでなく、ダムの効果発現が遅れないよう工程管理が重要。工期の進捗状況についても確認できるよう資料を工夫していただきたい。
- コスト縮減や工期短縮の取り組みについて、見込みがわかった時点で報告されたい。

【新丸山ダム建設事業部会】

- 付替道路計画の見直しについて、その調査検討費用として増額となるものの、整備・維持管理費用を抑えられ、トータルでコスト縮減となることから、良い取り組みであると思われる。工事実施においてコスト縮減結果を分析し、今後の部会で報告されたい。
- 自律型コンクリート打設システムにともなう無人化施工について、工期短縮、コスト縮減効果は注目している。効果の見込みが判明した時点で報告されたい。

【設楽ダム建設事業部会】

- 3年間での増額27億円は大きいと、事業費への影響について、今後説明されたい。

【天竜川ダム再編事業部会】

- 事業中のコスト縮減だけでなく、将来の維持管理や今後行う事業の効率化等にもつながるよう、DXの積極的な活用を検討されたい。

主な質疑

※主な質疑は後日記載を予定しております。

以 上